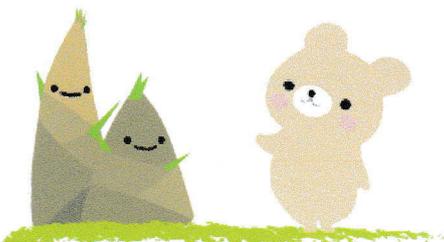


徳成寺

寺ともかわら版

第136号 2018年4月



いつもありがとうございます。住職の大山です。

今年に入り、寺ともかわら版読者の方から多くのご提案を

頂いています。たとえば、昔懐かしいLPレコードを聴く会を

やってみないかや、海外での渡航体験を皆さんに聞いてもらえないか、

そしてたんすで眠っている白い反物を持ち寄って、死出の旅路の装束を

みんなで縫う会をしてみてもいいという提案まで様々です。私が幼い頃、時々

白いさらしを法事の粗供養に頂いていたのを思い出します。近親者や近所の

人たちが縫って故人を送り出していた名残りなのですね。共に助け合い学び合う

喜びをもう一度私たちの手で取り戻したい。そんな皆さんのご希望に

応えて参りたいと思います。その折はお力添えよろしくお願いします。

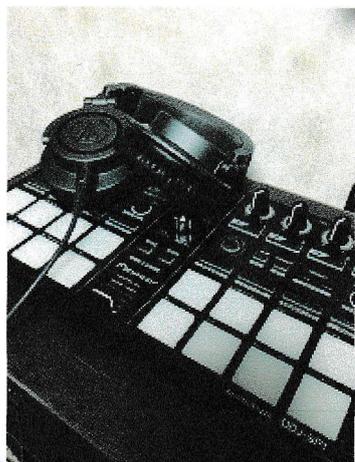
*子供おつとめ本を、ご希望の方はご一報下さい。

-発行責任者-
住職
大山健児
坊主
大山ひとみ



大山超世の耳を澄ませば

どうも、長男です。



大学生の時の手伝いでお会いして以降、約4年ぶりに報恩講のお勤めで、とある音楽好きの門徒さんとお会いしました。高松で音楽活動の拠点を設けられていると言う事でmixCDを差し上げました。

門徒さんはテクノに近い実験音楽の活動をされている方なので、専門分野が異なるのですが、先駆者の胸を借りるつもりで自分なりに精一杯背伸びした音楽を届けてみたつもりです。暖かくなりすぎる昨今の春に少し冷たい風が通り過ぎるようなそんなイメージが届く事を願ってクールな音楽を選んでみました。写真は趣味で使っている機材です。また楽しいお話が聞ける事を楽しみにしています。